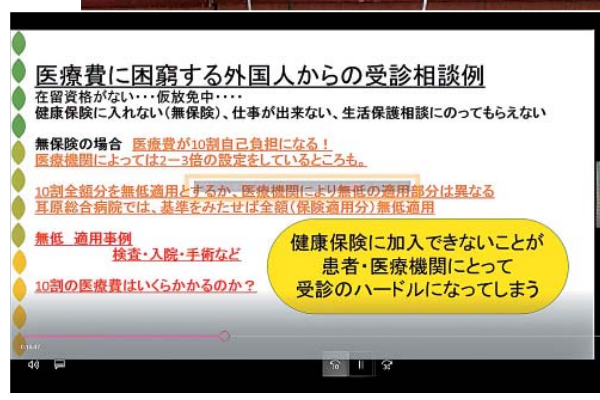
命を守れない日本の移民・難民政策の改善は待ったなし！

無料低額診療事業実施の医療機関として

▶全日本民医連の記者会見



「生活に困窮する移民・難民」からの無料低額診療事業（以下、「無低」）の利用相談が、2年前から増えてきています。ある日、「入国管理局収容施設から仮放免された方が体調不良で受診が必要だが、健康保険加入も生活保護申請もできない。無低の相談にのってもらえないか」と行政からの電話相談がありました。

「なぜそんな事態になっているのか」と疑問を抱いていたころ、入国管理局と医療機関の懇談見学企画に参加し、日本の入国管理行政の実情を知りました。

現在取り組んでいる「コロナ禍で苦しむ移民・難民の命を守る制度を整えてください」の署名呼びかけ活動など、社会的発信の出発点になったできごとです。

その後も様々な相談をお聞きし、「入国管理局での収容生活、仮放免とはどういう状況なのか」「なぜ国に帰れないのか」などを学習するうちに、移民・難民の方たちが、日本の生活・労働・社会保障の場で、無権利状態におかれている現状が徐々に見えてきました。「日本で暮らし働いていたが、失業や離婚などをきっかけに、在留資格が認められなくなった」「政治的迫害からのがれ、来日。生活苦から日本で働き生きるために来たが、なかなか難民認定されない」など、個人では解決できない事情を抱えておられます。

しかし支援側として、「高額な医療費を一医療機関の無低事業だけで支えるには限界がある」「無低だけでは、就労もできず、食べることにさえ困る生活の支援ができない」「これは一病院だけでなんとかできる問題ではない」と、ジレンマも感じるようになりました。

そんな最中、2021年3月に入国管理局施設に収容されていた方が、十分な医療を受けさせてもらえず亡くなられたニュースなどを知り、「命を守れない日本の移民・難民政策の改善は待ったなし」との認識を深めました。

私たちに何ができるか考え、昨年から支援団体・法律関係者などと広くつながり、情報交換や意見を交わす中で、10月に署名や記者会見などの社会的発信に至りました。

多くの方に署名文書や記者会見動画などを見て、この問題に関心をもっていただければと思っています。日本で暮らす外国の方が増える中で、私たちのすぐ近くで起こっている問題なのです。

（耳原総合病院サポートセンター医療福祉相談室　大平　路子）

全日本民医連の記者会見の動画▶

NHKニュース　ABCニュース

◀署名（移住者と連帯するネットワークHP）

「フードバンク鳳」に120人の来場

往復２時間かけ、自転車で来場される方も

大阪みなみ医療福祉生協とみみはらグループ共催の、大阪南部支えあいプロジェクト「フードバンク鳳」は、12月19日午前10時～正午の2時間で開催いたしました。6月の旭ヶ丘会館に次いで、2回目の取り組みです。前回同様、友の会の会員さんや職員、地域の方々から、お米や缶詰、レトルト食品、日用品などが寄せられました。

今回も基本セット（105人分）を中心に、新鮮な野菜やお菓子、日用品を用意し、当日を迎えました。寒さが厳しく、時折小雨もぱらつく天候となりましたが、開場前には既に20人ほどが列をつくる状況で、6月に開催した旭ヶ丘会館とほぼ同規模の120人の来場者がありました。

新型コロナ感染対策にも十分気を付け、密にならないよう、10人ずつ会場に入っていただき、検温、受付の後、基本セットとお米（2kg）をお渡しし、その後は調味料やお菓子、洗剤、トイレットペーパーなどの日用品を選んでもらい、最後にアンケートに協力していただきました。

「こんなにたくさん、ありがとう」「食材や日用品は助かります」など、今の世相を反映させるかのような言葉をかけていただきました。

中には「派遣社員ですが、ネットで今回のフードバンクを知り、来ました。とても助かります」と往復2時間かけて、遠く藤井寺市から自転車で来場された方もおられました。

当日は、高校生や大学生を含め、会員さん・職員総勢56人のボランティアさんに参加していただき、みなさんのお力を借りて、スムーズに運営することができました。友の会への入会も2件ありました。

準備段階から会員さん・学生さん・職員の皆さんに、地域への全戸ビラまきや仕分けなどにも関わってもらい、たくさんの物資とカンパもいただき、本当にありがとうございました。

（健康友の会みみはら事務局）

薬剤師（常勤）急募

薬剤師として地域に貢献しませんか？

勤務地：堺市堺区協和町4丁465

詳しくは➡
『https://www.mimihara.or.jp/sogo/medical/med27/』
薬剤師募集項目をご覧ください。

連絡先（採用係）072-244-7260

社会医療法人　同仁会（耳原総合病院）

2022年入学看護学生対象

Web看護奨学金説明会

2月19日（土）
3月5日（土）
両日とも
①9：30～10：50
②11：00～12：20

〈Web〉Zoomを使用（事前にアプリ取得が必要です。Zoom招待は申込後にお知らせします。Wi-Fi環境がない場合など、ご相談ください）
〈申　込〉右上のQRコードからお申込ください。各日程の5日前まで受付。いずれも10人を定員といたします。
〈申込先〉メール：kangakusei@mimihara.or.jp
電　話：072－241－0501
住　所：堺市堺区協和町4丁465
耳原総合病院の看護学生担当に「看護奨学金説明会の申込をしたい」とお伝えください。

「研修医育成」に皆さまの〝声〟を

右のＱＲコードからアンケートへのご協力をお願いします。
（耳原総合病院研修委員会）